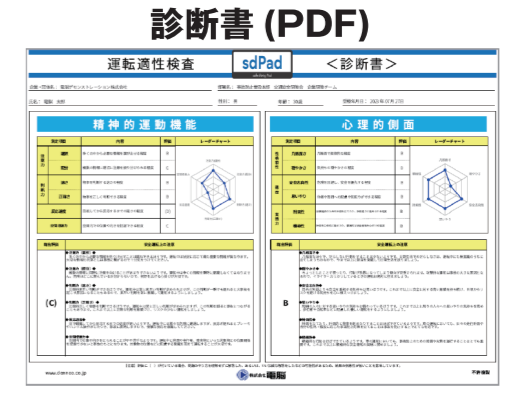
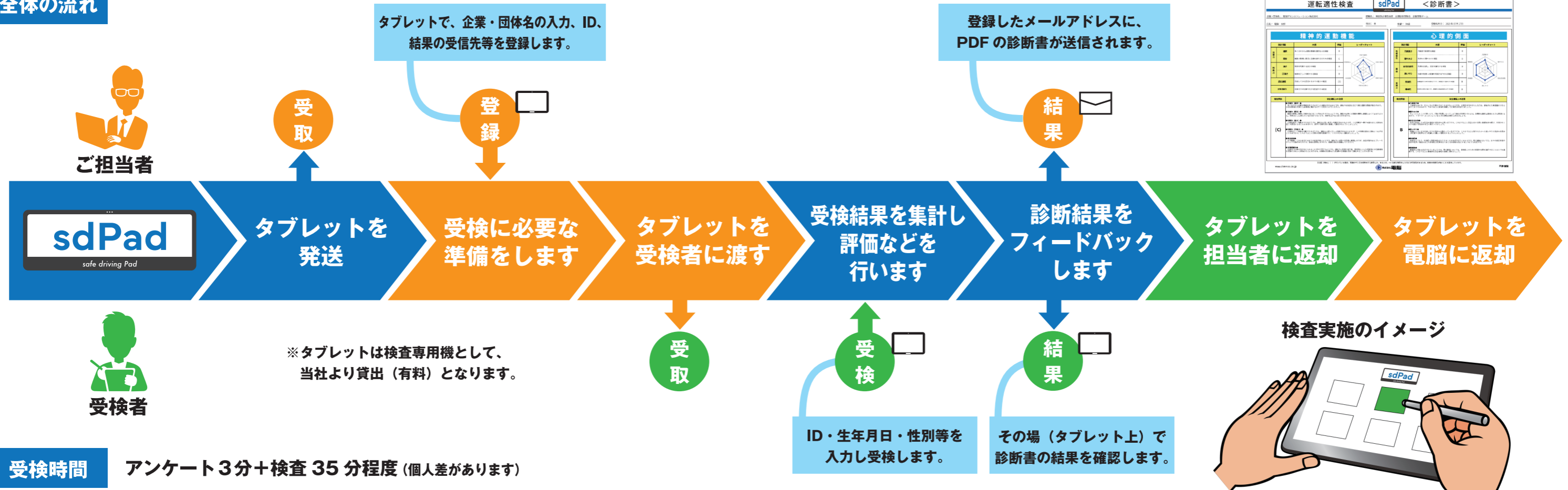


1. ドライバーが安全に運転するために必要な「精神的運動機能」「心理的側面」を測定します。
2. 受検から診断までタブレット1台で完結し、自動採点されます。
3. 受検後すぐに PDF の診断書がメールで送られ、ペーパーレスで管理することができます。

### 全体の流れ



### 検査実施のイメージ



### 受検時間

アンケート3分+検査 35分程度 (個人差があります)

### 検査構成

5種類の作業を行う検査 (反応速度を測る問題など)  
56個の質問に回答する検査

### 精神的運動機能

測定項目		評価内容
注意力	選択	多くの中から必要な情報を選び出せる程度
	配分	複数の情報に適切に注意を振り分けられる程度
判断力	速さ	物事を判断する速さの程度
	正確さ	物事を正しく判断できる程度
反応速度		目視してから反応するまでの速さの程度
空間把握力		空間内での位置や向きを把握できる程度

### 心理的側面

測定項目		評価内容
性格特性	几帳面さ	几帳面で規律的な程度
	穏やかさ	気持ちの穏やかさの程度
態度	安全志向性	危険を回避し、安全を優先する程度
	思いやり	他者や周囲への配慮や気配りができる程度
実践力	計画性	目標達成のための計画を立てたり、計画通りに進められる程度
	積極性	計画を主体的に進めたり、積極的な安全運転を心がける程度

### 活用のイメージ

注：実際の運転状況によって異なります。

#### 注意力“配分”の評価が低い場合

Aさんは、注意が一部に固定しがちなので、  
二輪車や自転車などが行き交う交差点等（複雑な道路状況）では、  
幅広く注意を配るように指導しよう。



#### 態度“安全志向性”の評価が低い場合

Bさんは、安全に対する意識や気持ちが希薄なので、  
小さなリスクも回避できるよう、常に「かもしれない運転」を  
心がけるように指導しよう。



※アンケート結果は、匿名化したうえで検査の品質を保つために利用する場合があります。  
※アンケートへの回答は、検査の結果に影響しません。